

質問②：現在、外画とアニメ（動画）の最低ランクは、「15」（15,000 円）となっています。
今後の最低ランクは、どの水準が望ましいと思いますか？

●ランク保持者/ランク保持者（外画／動画 以下同）

- ☐ ジュニア制度次第
- ☐ そんな事よりランカーなのにジュニア料金でやってる事務所を何とかして欲しい
- ☐ 現状維持でステップランクを廃止
- ☐ 現状維持で構わないが、経験・実績ある人はランクを保持すべき
- ☐ 今よりは高くしたいが、現状難しいと思ってます
- ☐ 週一のレギュラーがあつたら国が提唱する最低収入に届くレベル
- ☐ 物価が 1,5 倍なのだから、22500 円。
- ☐ 分かりません
- ☐ 新人は 15000 円でも良いと思うが、ステップには数年詰んだキャリア分の上乗せがあっても良いと思うし、ランカーは 20000 円くらいからでも良いと思う。
- ☐ 増やしてしかるべきだが、報酬額がネックでオーディションを受けられない仕事を増やしたくない。
- ☐ 事務所から引かれた時給計算で、最低時給と職手当みたいな専門職手当を足し、交通費。
- ☐ 少しでも上げたいけど、それが難しいなら料率を上げたい。もうずっとランカーは使えないと言われ続けて心が折れる。アニメ有名声優だけ使いたいクライアントが増え過ぎて地獄。
- ☐ アニメがこれだけ世界的な人気になっているにも関わらず、ギャラが変わらないなんてありえない。ならば、その分が別作品に還元されているかというところという訳でもないように見える。というかこの議論自体遅い。今まで何をやってたのか理解できない。国に対して物申したいことがあるのはけっこうだが、その前にもっと目の前に密に話合わないといけないところがあったんじゃないのか？

●ランク保持者/新人

- ☐ 現状維持で良いが、10 年 20 年やっててネームバリューもあるのに最低ランクを続けられる制度をなんとかしてほしい。若手がランクになった途端仕事なくなるのはそのせいもあるはず。
- ☐ 一体いつまで昭和の体制でやるおつもりか。料率にしても円周率所以などという冗談のようなきっかけをいつまで信心するのか。欧米は家が建つほどの価値がある、生活が困窮する歩調を合わせるにも程がある

ランク保持者/自分のランクが分からない

- ☐ CS は料金を払わなければ見られないのに、出演料が安すぎる。通常と同じ料率であって欲しい。

●ステップランク/新人

- ☐ 現場において最低ランクがあるのは時代錯誤だと思います。
- ☐ 現状維持でいいが新人の価格を一本 15000 円から上げてほしい。良識に任せて 16000 円の場合もあるだけじゃ流石に物価の高騰に見合わない。

【日本俳優連合 2026 年 8 月アンケート：その他の回答】

- ジュニアの金額をもっと上げてしまえば下手くそが淘汰されるし無限ジュニアも消えてランクの需要が出る。
- 3 万以上。円安で物価も上がっているのに、一体何十年前の価値の 1.5 万あたりでやっているのか本当に意味がわからないと思います。アニメーターの価格は上がってるのに、このランクの制度のせいで賃金が上がらずに、業界が足元を見られている原因になっています。高校生のバイトの方が稼げますもん。プロですよ？どれだけ価値を安くみているんだ。
- 事務所ごとに手数料が違うしなんとも言えません。1.5 万のまま、役柄やセリフ量で歩合制のボーナス導入などを考えるべきでは？1.5 で主役をやるジュニアもいて、一言でランク料金が出たりなど、バランスが悪すぎる。それと、CS 料金を一刻も早く撤廃すべき。あれがあるせいで、CS ではない配信の作品がその料金形態を悪用され安く使われる事がある。VO なども手間暇を考えたら CS は割に合わない。いつまで CS 料金という悪を生かしたままにしておくのか。
- 15,000 円～16,000 円程度が望ましいと考えます。ただ、そもそも最低ランクを設定すること自体に、どこまで実効性があるのかという点には疑問があります。日俳連に登録していなくても、長いキャリアがあり、さまざまな作品で役名のある重要な役を担当している声優（フリー・事務所所属を問わず）が実際に存在します。私の知り合いにも、ギャラを個別に交渉したうえで、ランク規定より安い条件で仕事をしているフリーの声優がいます。もちろん、最低金額を設定すること自体には意義があると思います。しかし、登録していない声優がそれを下回る条件で受注できてしまうのであれば、日俳連に登録している声優側がその条件に対して競争できる手段がなく、最低ランク制度の根底にある「最低限の報酬水準を守る」という考え方そのものが崩れてしまうように感じます。登録していない声優についても、例えば一定の条件のもとで、大手の音声制作会社等※、規則に則って制作・運用している会社とは仕事ができない、といった仕組みが存在すれば、最低報酬を守るための実効性をより確保できるのではないかと思います。そのため、金額については 15,000 円～16,000 円程度が現実的だと思いますが、それ以上に、登録者と非登録者との間で最低報酬に関するルールの実効性をどのように担保するのか、という点についても検討していただきたいです。

※事務局にて固有名詞を「大手の音声制作会社」と言い換えております。

●ランクを持っていない/ランクを持っていない

- わかりません

●自分のランクが分からない/自分のランクが分からない

- 報酬の額よりも報酬を得るに相応しい演者かどうかの方が問題だと思う。
- 関わりのない部門です
- 分からない。
- 人気声優さん含め最低ランクのままの方が圧倒的に多いのではないかと。周りが上げないので上げられない状況が続いています。

質問③：業界の慣行として「キープ（スケジュールの仮押さえ）」がありますが、
直前の「バラシ（キャンセル）」が問題となっています。
バラシの連絡は、遅くとも本番の何日前までにあるべきだと思いますか？

●ランク保持者/ランク保持者

- ☐ 前日・当日キャンセルは基本ランクを支払う
- ☐ 他の業種と同様に前日バラシはキャンセル料が発生するべき
- ☐ 本番の 7 日前まで。それとは別にキャンセル料は必要であるとする。
- ☐ 「遅くとも」なら 1 日前ですが、直前のキャンセルには料金が発生してもよいと思う
- ☐ 3 日前以降はキャンセル料発生
- ☐ キャンセル料がホテル等の宿泊と同等になるなら問題ない
- ☐ そもそも決定してからキープしてほしい。
- ☐ 一概には言えない。
- ☐ 一週間を切ったからのバラシはキャンセル料を払ってほしい
- ☐ キャンセル料に関してはホテルみたいな形がいいと思います。当日～2 日前は 100%で、7 日前は 0%
- ☐ 1 週間前なら無償キャンセル、3 日以内のキャンセルはキャンセル料が発生する、といったやり方が理想か
- ☐ 演者としては早ければ早いほど良いです。収録日までのブッキングのリミットを厳格に設ける等すれば、チャンスが増えると思います。演者のみに留まらず、制作サイドも含めた多角的な視点をもってガイドライン等を策定していただくべきかと思います。
- ☐ 今の録り方を続けるのであれば、特にクールではない年通しモノなんかは、主人公と番レギ以外は都度でやるべき。そして、番レギは最低 2 話に 1 度の出演義務をつけるべき。報酬の制度を変更し、一話辺りの報酬が上がり、無駄に本数やらなくても済むようになるなら、それも含めての契約にすべき。

●ステップランク/新人

- ☐ 3 日前に深刻できなければ、キャンセル料(出演料の何割か)が発生する
- ☐ 5 日前。それ以降はキャンセル料が発生して欲しい
- ☐ 6 日前ほど、またキャンセル料があれば問題ない
- ☐ ホテルと同じキャンセル料の割合水準の仕組みにすべき、繰り返す制作会社演出家にもペナルティとかやらないと無くならない。
- ☐ 3～4 日前にはバラシの連絡が欲しいですし、直前バラシはキャンセル料があっても然るべきですね。キャンセル料が発生するならばバラシの連絡も早くなるかもしれません
- ☐ 最低でも一週間前からはキャンセル料を設け、且つ、本番日に近ければ近いほどキャンセル料を高く設定するべきだと思う

●自分のランクが分からない/新人

- ☐ 当日

●自分のランクが分からない/ランクを持っていない

○ものによると思うが早ければ早い方がいい。少なくとも前日はやめて欲しい

●自分のランクが分からない/自分のランクが分からない

○3 日前までに連絡。それ以降はキャンセル料を設定しても良いと思う。

○新人でアニメが多かった頃に散々苦勞しました。事務所も制作に迷惑がられたくないから聞かない、事務所で連絡が止まっていたこともありました。せめて 1 週間を切った場合は 30%、3 日前 50%など、ホテルのようにキャンセル料があるべきです。価格と拘束時間に対してなんの補償もなく、あまりに理不尽です。こうして意見を聞いてくださることはありがたく、良い時代だと感じます。

質問④：セキュリティの問題で、収録前に制作会社やスタジオに出向かないとリハーサルができない作品が増えています。現状、リハーサル日の報酬が発生しないことについて、どう思いますか？

●ランク保持者/ランク保持者

○そのためにも最低ランクを上げるべきかと。

○その分料率を上げるとか

○それも含めた報酬の制度の変更

○報酬や手当では不要

○本番と同額でなくても、一定の報酬・手当が支払われるべき

○本番と同額の報酬が支払われるべき

○料率が少ない作品は交通費実費くらいは必要かと。

○どのような形であれリハーサルも仕事の時間の一部なのだからあらかじめリハーサル相当時間も含めたギャラになっているべきだと思う。

○映画など大作は手当が出たとしてもレギュラーだと難しいと思う。海外との契約なので仕方なく思う

○交通費とギャランティの半額または、ギャランティにリハーサル費用を 30%上乗せなどいかがでしょうか

○『リハ日』がスケジュールとして組み込まれることで、同日・同時間帯に後から入ってきた仕事の問い合わせが第 2 キープ扱いになり、結果スケジュール合わずでバラシになることが多々あります。事務所が制作側に気を使っているだけ…といえそれはそうですが、リハ日期間内ならどの日にち／どの時間に行っても大丈夫な体勢をリハさせる側が整えるべきだと考えます。それが難しいなら、リハに報酬が必要だと思います。

○スタジオに出向いてリハーサルしないといけないのでは本番に自信が持てないので仕事を断ろうとしたことがあります。結局、そのリハーサルの仕方ではなかったので仕事を引き受けましたが……セキュリティの問題があろうかとは思いますが、自分の家で、時間に縛られずに練習をしたいです。その今までのやり方で、セキュリティもクリア出来るというのがいいのですが。

●ランクを持っていない/ランクを持っていない

○ギャラが高ければ無くても良い

●自分のランクが分からない/自分のランクが分からない

○交通費の実費程度が支払われるべき

質問⑤：アニメ（動画）の報酬について、一括処理 C 方式（放送・配信・ビデオグラム等の権利処理を一括で行う方式）の場合、現在の料率は「220%以上」とされています。今後のアニメにおける一括処理 C 方式の料率は、どの水準が望ましいと思いますか？

●ランク保持者/ランク保持者

○根本的な制度の変更を求めているので話にならない。

○上げてしかるべきだが、質問 2 と同じ理由で現状維持にするしかない。

○都度契約であるべき

○配信のプラットフォームや形式が多岐にわたっているので水準は上げた方が良くと思うが、具体的な%については分からない。

○物価上昇と照らし合わせ、それに応じた上昇率が必要。衣食住すべての物価が上がっている昨今、「健康で文化的な生活」を送るためには当然の権利であるため。

○放送、ビデオグラムと配信は分けて、配信は配信を続けている間は年単位で一定の報酬を毎年払ってもらう方が良くと思う

○料率の変更は必要ないが、もしジュニア料金が上がるとしたらそれに併せてランクの下限も引き上げるべき。(ジュニア料金が 16000 円なら、最低ランクも 16 から…など)

○近年、配信など含め多様なサービスへの提供が増えてきていることを鑑みると 220%より増加するのが望ましい。更に劇場版などの興収が増えた場合は別途出演料を増額するなど新しい解釈の契約を検討するべきだと思います。

●ステップランク/新人

○作品の利益に対して不当に低いので出来る限り上げるべき

○現場において最低ランクがあるのは時代錯誤だと思います。

●ランクを持っていない/ランクを持っていない

○版權扱いにする

●自分のランクが分からない/自分のランクが分からない

○関わりのない部門です

○分からない

○放送、配信、ビデオと分けるべき。媒体ごと 100%上乗せなど、海外基準も参考にし、一括なら 300%以上あって良いはず。

以上